

生徒、教職員の未来が見つかる学校に！

令和7年4月24日

学校の強みの発見

本校は、88年目を迎えます。多くの卒業生がこの学校で学び、考え、人と関わりながら成長をしていったことでしょう。88年目の今年、新たに赴任して、学校に関わる人たち（生徒、教職員、卒業生、地域の方々など）が、学校愛にあふれ、前向きに学校生活等を送っていることをとても嬉しく思いました。

アダム・グラントというアメリカの教授は、「与える人」こそ成功する時代であると言います。「give and take」という言葉があります。与え、受け取り、関係性をよくしていくという原理です。教授は、この関係性には、ギブをする人（与える人）、テイクをする人（受け取る人）、バランスをとる人（いずれもしようとする人）の存在があることに気づきました。そして、このそれぞれの人を研究し、「与える人」が、社会では、成功している傾向が強いと発見しました。このことはまた触れたいと思いますが、向社会性という、人のために何かしたいと願う気持ちが強い（育っている）状態になることが、この与える人の特徴です。

本校の生徒は、表情がとても良い。授業の様子は、まだわずかしか見られていませんが、部活動の様子、登下校の様子から可能性をととも感じました。教職員、家庭、地域の方の目（気持ち）がそうさせているのだと思います。おそらく、一人一人はいろいろな背景を抱えているでしょう。でも、学校という社会においては、前を向けない日もあるかもしれませんが、未来を見て、生活してほしい。私は、とても可能性のある学校であるという強みを発見したので、初めに書きました。今回は、それをもとにいくつか紹介します。

富士山の麓から感じること

富士宮に住んで、いつも思うことは、富士山が常に「共にある」ということです。生徒に、ある時「富士山、綺麗だね。」と話しかけたら、「（とても笑顔で）そうですね。今日はまた、特に綺麗ですよ。」と返してくれました。何気ない言葉かもしれませんが、富士山の表情をいつも見ているのだと思いました。そして、富士山は、目線が「見上げる」形になります。生徒や教職員の皆さんが、前を見る、目線が上がるというのはとても良いと感じます。この通信でもしばらくは、富士宮新しい市民として、富士山に触れたいと思っています。

本校で「探究」を研究

今年度、県教委の「総合的な探究の時間」の教育課程研究委員に、本校佐藤教諭が選ばれました。総合的な探究の時間は、教科横断的な、学校全体の取り組みです。これは、**生徒、教職員が、総合的な探究の時間「♪タンタンタイム♪」に前向きに取り組んで下さっているからこそ**であり、今年度1回目のタンタンタイムでも、先生方一人一人が個性を出して（工夫して）、新しい人間関係づくりに取り組んでいました。



可能性を広げるということ

東京に、エキユメノポリスというスタートアップ(全く新しいビジネスモデルを構築)企業があります。「教育や仕事の様々な場面に会話 AI エージェントを派遣し、創造性と生産性を向上させる」というコンセプトの企業です。この会話 AI エージェントは、英語によるインタビューやロールプレイなどを通して英会話能力を向上されるというサービスを提供しています。(https://www.equ.ai) 予習復習(セファール対応)に適しており、学校の授業とも親和性が高そうなので、この企業とタイアップしたいとさえ思いました。

さて、この企業の代表である松山代表とお話する機会に恵まれました。松山代表は、大学の研究を基礎として、起業をしたようですが、いったい AI に何を学ばせて、英会話のエージェントを生み出したのでしょうか。それは、人が考える時の仕草、目線、発した言葉などだそうです。もともと、人はどのように考えるのか(認知)を研究していたそうです。

私たちは、何か一つのを追及し続けることが、専門性を高めて、自分の力を高めると考えがちです。高校生の皆さんは、とても柔軟だと思いますが、YouTubeなどで見かける、「真似してみた」「キャラクターを作って、歌わせてみた」などで新たな発見をする手法に似ていますが、何かと何かを掛け算したり、組み合わせたりすることで、新しいステージに上がることができる時があります。

みなさん、4月から新たな「縁」に恵まれ、新たな掛け算が起こっていると思います。また、部活動などの良さの一つは、他校などとの切磋琢磨や共同など自然に「横のつながり」を発生させることにあります。そこには、一つの学校の「縦のつながり」に新たな視点が加わることを意味します。そして、このつながりは、意識しておく、「学び」に向かいたいという好奇心を発生しやすくします。

エキユメノポリスの松山代表は、人と人、人と AI が協働して、一緒に良い未来を作りたいと、熱く語ります。みなさんも、今、一生懸命やっていることを、「自分は、なぜ、一生懸命なんだろう？」とたまに問いかけてみると良いかもしれません。ぜひ、高校生は可能性を広げて、未来を見つけてほしいと願っています。本校は、そういう「未来を見つける」ことができる場所になると良いですね。

自然と迷い込んでいく、魅力・・・居場所は作り出す!?



石川県立図書館です。この図書館のコンセプトは、「思いもよらない本との出会いを楽しもう。」「図書館にお気に入りの場所を見つけよう。」です。中に入ると本当にそうなるんです。魅力的ですね。



インデックス
教える
って難しい!



インデックス
ちょっと
一息!

進みたくなる!!